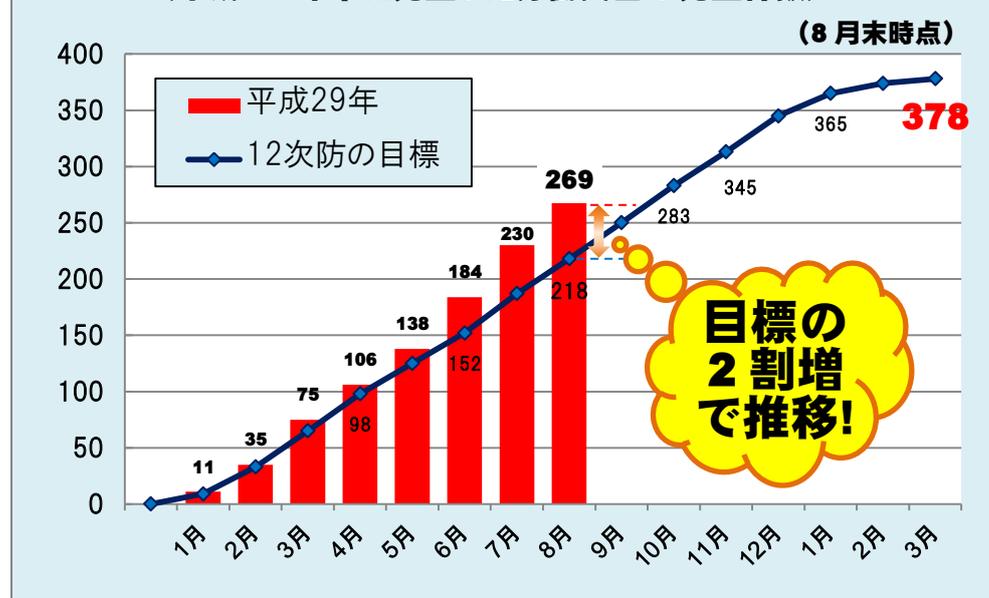


10月～12月は

No more 労働災害

キャンペーン期間です。

＜平成 29 年中に発生した労働災害の発生件数＞



昨年の当署管内の労働災害の発生状況は、対前年比で1割も増加し、愛知労働局管内14署の中で、増加数、増加率とも最多となり、大変憂慮すべき状況となっていました。

この状況に歯止めをかけるべく、第12次労働災害防止計画(12次防)の最終年である今年は、年初からその目標達成に向けて、さまざまな取組を行ってまいりました。

しかしながら、その増加傾向に歯止めがかかっておらず、8月末時点で**269件**と昨年のペースを**8件**も上回る状況となっており、**非常事態**と言っても過言ではありません。

刈谷労働基準監督署管内での労働災害が多発しています!

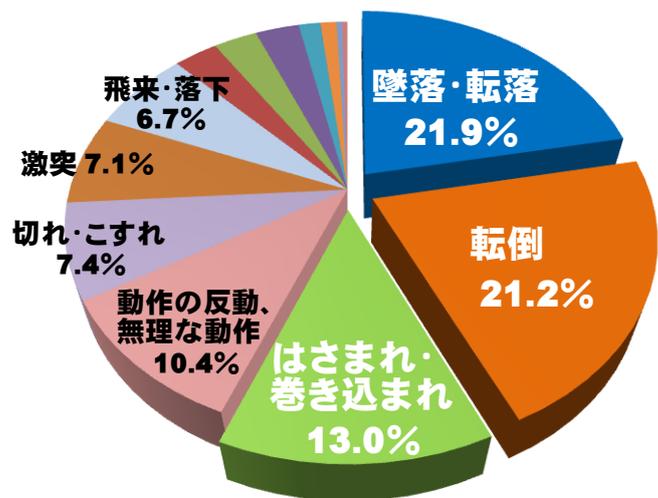
特に、食料品製造業が**+14件(対前年比2倍以上)**と増加が顕著であり、製造業以外では、**建設業、運送業、第三次産業**において、**目標の3割から7割増で推移**しており、目標達成に向けては**更なる削減**をしなければなりません。

災害の内容をみると、近年多く発生している**転倒**災害では、通路等における**つまづき・滑り**が目立ちます。また、転倒災害とほぼ同じ割合で**墜落・転落**災害が発生しており、**脚立やはしご、階段からの墜落・転落**が多く見られます。動力機械等による**はさまれ・巻き込まれ**災害も依然として多く発生しており、**この3つの災害で全災害の過半数**を占めています。

これらは、一人一人の気づきや災害防止の意識によりすぐにでも改善できます。

『災害ゼロは実現できる』との信念の下、事業者、労働者、すべての関係者が共通認識を持ち、経営トップは強いリーダーシップを発揮し、労働者は常に結果を考えた行動を実践することによって、組織として**安全文化・健康文化**を構築し、

『誰もが安心して、安全に、健康で働くことができる職場』を実現しましょう。



刈谷労働基準監督署 ・ 一般社団法人 刈谷労働基準協会
建設業労働災害防止協会愛知県支部刈谷分会
陸上貨物運送事業労働災害防止協会愛知県支部

災害ゼロは実現できる!

「No more 労働災害」キャンペーン実施要綱

■ 実施期間

平成 29 年 10 月 1 日 ～ 平成 29 年 12 月 31 日

■ 事業場の実施事項

- (1) 経営トップによる労働災害防止の取組に向けた所信表明
- (2) 以下の実施状況を重点に置いた事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
- (3) 論理的な安全衛生管理の考え方に基づく労働災害防止対策の実施
- (4) 作業員による安全作業手順書の再読・再確認及び管理者による遵守状況の確認
- (5) 階段からの墜落・転落対策、躓き・滑りによる転倒対策の実施
 - ・4S(整理・整頓・清潔・清掃)の積極的な推進
 - ・転倒しにくい作業方法の決定及び実行。作業に適した靴の着用
 - ・転倒危険情報の共有。表示等による注意喚起
- (6) はしご、脚立からの墜落・転落対策の実施
 - ・はしごの上部・下部の固定状況の確認や脚立設置場所の確認
 - ・3点支持による作業の徹底
- (7) 清掃、調整等の際に機械の確実な停止の徹底
- (8) 荷役作業における労働災害防止対策の実施
 - ・荷主等による陸運事業者と連携した荷役災害防止の取組
 - ・陸運事業者の自社構内における労働災害防止対策の積極的な取組

STOP! 今一度、確認してみましょう。

- 通路等に物を放置していませんか?
- 滑りの原因となる床の水たまりや油等は、その都度取り除いていますか?
- ポケットに手を入れたまま歩いていませんか?

- はしごや脚立を使わない、より安全な作業方法はないですか?
- はしごはしっかり固定しましたか?
- 荷物を持ったまま、はしごや脚立、階段を昇降していませんか?

- 清掃や調整、異常時等には機械を止め、機械が完全に停止していることを確認してから作業を行っていますか?
- 作業標準の作成・遵守、安全衛生教育は確実に実施されていますか?

働くことで **生命が脅かされたり、健康が損なわれたり**することがあってはなりません。

「災害ゼロは実現できる」との強い信念を持って、労働災害防止対策に、より一層取り組みましょう。